

(案)

平成27年度第6回中原区区民会議

日時 平成27年10月29日(木) 13:58～

場所 中原区役所5階 503会議室

午後 1 時58分 開 会

1 開会

司会 皆さん、こんにちは。定刻より 1 分ほど早いのですが、委員の皆様方、おそろいになられましたので開始をさせていただきます。それでは、ただいまから第 5 期第 6 回中原区区民会議を開催いたします。私は、本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます副区長の小野でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本日は過半数の委員に御出席をいただいておりますので、川崎市区民会議条例第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。

なお、本日の会議は会議公開条例に基づき公開で行われます。また、会議録を作成し、公開することとなりますので御了承いただきたいと存じます。

なお、本日は、反町委員が所用により欠席との御連絡をいただいております。

また、参与の皆さんですが、市古参与、大庭参与、川島参与、末永参与、松井参与、松原参与、川本参与、たきた参与につきましては、所用により欠席との御連絡をいただいております。

それでは初めに、中原区長の鈴木より御挨拶を申し上げます。

区長 皆さん、こんにちは。きょうもお忙しい中をお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。今回は第 6 回ということございまして、また、参与の方々にも御参加をいただきまして本当にありがとうございます。

最初に、せんだっての 10 月 18 日、なかはら“ゆめ”区民祭、天候に大変恵まれて、無事に終えることができました。また、この区民会議に参加されている委員の皆様方には、当日「等々カピカ美化大作戦!! ～スタジアムをキレイにするのは君だ～」と題してブースを張っていただきまして、またそこでは、川崎フロンターレ中原アシストクラブの皆様ですとか、専修大学のインターンシップの学生さん、皆さんの御協力を得ながら事業を実施して、中では、いわゆるごみの分別といったようなゲームをしていただいたりということで、大変御好評でした。全体来場者は警察署とも相談の上いつも発表しているんですけれども、当日は 3 万 5000 人の来場者があったということです。私からすると、もっといっぱい来ていたかなという感じもしますけれども、数字上のところはほどほどということですが、大変和やかに、楽しく区民祭ができたことを改めて感謝申し上げたいと存じます。

本日の区民会議におきましては、今期区民会議の 2 つ目の審議テーマとなっております「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」に関する課題ですとか解決の方向などについて、これまで各部会で検討していただいております内容のいわば中間報告をいただきまして、さらに、今後の方向性などを踏まえ

て議論いただくことになっております。また、これまで部会などを初めといたしまして、真摯なる議論をしていただきましたことにつきまして、あわせて感謝申し上げます。

また、今後ですけれども、次回の区民会議につきましては、取組の提案ですとか、一定の結論をいただくことになっておりますので、本日は委員の皆様の活発な御意見をお願いしたいと存じます。

結びになりますけれども、このところ、天候不順というか、急に寒い日があったり、暖かい日があったり、私もつい先日はちょっと風邪ぎみで、きょうは実は小野副区長が風邪ぎみでのが痛い、鼻詰まりがするんです。そんなことですが、皆様におかれましても、どうぞ健康にはくれぐれも御留意いただきますようお願いいたします。簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくようお願いいたします。

2 新委員自己紹介

司会 それでは続きまして、議事に入ります前に、まず委員の変更につきまして御報告をさせていただきます。

平成27年7月末をもって、川崎地域連合（中原地区連合）から選出の松澤委員が当該連合から退任をされまして、かわりまして、8月1日から新たに当該連合に就任をされました岩崎さんが委員となりましたことをここに報告させていただきます。それでは、岩崎委員から御挨拶をお願いいたします。

岩崎委員 岩崎貴志と申します。このたび、御紹介いただいたとおり、中原地区連合の事務局長を8月1日から仰せつかりまして、そちらで働かせていただいております。中原区の中で私の出身はNECということで、今もNECの玉川事業場、武蔵小杉のほうで働かせていただいております。そちらで区民の皆様と協調しながら、きちんと意見等を述べていければと思っております。よろしく申し上げます。

司会 岩崎委員、ありがとうございました。どうぞこれからよろしく申し上げます。

それでは続きまして、事務局より、本日の資料の確認をさせていただきます。

事務局 それでは、本日のお手元の資料の確認をさせていただきたいと思っております。

本日の資料、クリップでとまっておりますので、よろしければ外して御確認をいただければと思っております。

まず1枚目に、本日、第6回区民会議の次第がございます。

おめくりいただきまして、別紙1で本日の席次表をおつけしております。おめくりいただきまして別紙2、委員、参与の名簿をおつけしております。

次からが資料になっておりまして、資料1といたしまして、課題解決に資する提案等まとめ（経過報告）という資料でございます。こちらがA3の1枚の資料になっております。続きまして、資料2は自転車（交通）マナー・ルールに関する取組事例についてという資料でございます。A3で両面印刷になっている資料でございます。続きまして、資料3が第5期中原区区民会議スケジュール（案）でございます。こちらもA3の1枚の資料でございます。続きまして資料4、平成26年度「中原区地域課題対応事業」実施結果一覧表でございます。こちらもA3の両面印刷の資料になってございます。

次からが参考資料でございまして、参考資料1-1は、第5回課題調査部会会議録でございます。続きまして、参考資料1-2は、第6回課題調査部会会議録でございます。続きまして、参考資料2は、第5回運営部会会議録（案）でございます。続きまして、参考資料3はA4、1枚のものになっておりまして「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」取組提案の進捗状況という資料でございます。続きまして、参考資料4は、なかはら区民会議だより第25号をおつけしております。続きまして、参考資料5は、平成27年度区民会議交流会について（案）でございます。こちらはA4で2枚のものを左上にホチキスどめしているものでございます。

それと、資料ではございませんが、なかはら一斉クリーンアップ大作戦のチラシを皆様のお手元に置かせていただいております。

資料につきましては以上でございます。

事務局 ただいまお手元の資料について確認をさせていただきましたが、皆様方、資料の過不足等いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ここからの進行は委員長にお任せしたいと存じます。委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

板倉委員長 それでは、ここからの進行は私がさせていただきます。よろしくお願いいたします。先ほど区長から御挨拶ありましたように、秋も深まって、それなりに紅葉の季節となったんですが、きのうは夏日、きょうはこういう温度、非常に寒暖の差が厳しくなっております。お互い体に気をつけて、これからも進めていきたいと思っております。

なお、本日の討議内容はまたたくさんありますので、御協力をよろしくお願いいたします。

3 会議録確認委員の選任

板倉委員長 まず、会議録確認委員の選任を行います。前回は田中委員と反町委員にお願いいたしましたので、名簿の順ということで、園部委員と梶川委員にお願いした

いと思いますが、よろしいでしょうか。よろしくお願ひいたします。

4 議題

(1) 第5・6回課題調査部会及び第5回運営部会報告

(2) 審議テーマ「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」について

板倉委員長 それでは、議題の審議を進めていきます。

まず初めに、第5・6回課題調査部会及び第5回運営部会報告を受けて、本日の審議テーマである「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」についてという内容について討議を行っていただきたいと思ひます。

課題調査部会は、8月3日、9月2日に審議テーマ「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」ということで、課題解決に向けて取組案を検討していただきました。まずは、その課題調査部会の検討結果について、課題調査部会長であられる成田副委員長に御報告をお願ひいたしたいと思ひます。できるだけ詳しくやっていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

成田副委員長 それでは早速、課題調査部会報告を行いたいと思ひます。やや内容が盛りだくさんになりますが、できるだけスピーディーに報告させていただきたいと思ひます。

まず、8月3日（月）、9月2日（水）の両日、部会員9名のうち8名の出席で（各回1名欠席）で第5回及び第6回課題調査部会を開催いたしました。

まず、第5回部会で部会長、副部会長の選任を行いまして、部会長に私、成田、副部会長に反町委員が選任されました。というところで、早速資料1をごらんになっていただきたいと思ひます。

まず、第5回部会におきまして、前回7月2日に行われました区民会議の全体会における意見や、また、別途資料2を参考にしまして、課題調査部会の委員から提出された審議テーマに関連する意見などの整理を行いまして、それを踏まえまして、課題と現状の把握、情報共有を行い、目標の設定、狙い、ターゲットの絞り込みについての審議を行いまして、その審議内容についてまとめましたのが資料1の一番左側になります。第5回部会の審議における部会委員の意見をまとめました結果、まず、課題としましては、一番最初に「自転車に起因する交通事故」「ルール」、3番目に「マナー」、4番目に「環境の未整備」、以上の4つの課題分野にそれぞれ分けられました。

次に、それぞれの分野についてですが、まず、一番最初の「自転車に起因する

交通事故」についてですが、この分野における課題・発生個所として、信号無視や自転車の運転スピードの出し過ぎといった自転車危険運転、違反運転、また、未成年者の自転車による交通事故や、その被害者に対する多額の賠償金などが問題となっていますことから、交通事故の増加・深刻化について多くの意見がありました。その解決の方向性、取組の例や案などとしましては、まず、各地域や学校等でもなじみのある交通安全教室や交通安全活動の広報強化、既存の取組の周知・徹底、T S マーク活用案内や自転車保険を学校のP T Aなどを通じて加入を進めることなどといった自転車保険への加入の奨励や促進、重大な交通事故事例を広く周知していくなどの事故事例等の広報などといった提案がされました。

次に、2番目の「ルール」についてですが、まず、ルールそのものについて検討しまして、ルールは一般的に道路交通法などの法令や、それを守らないことによって警察の取り締まりを受けるものと考え、このルールを守らない原因としましては、危険や不便の回避、また、ルール自体を軽視したり、無意識であることなどが挙げられました。この部分における課題・発生個所として、特に買物客等の一時利用者の路上駐輪の問題から、既存の駐輪場の利用の促進を図ること、また、車道を走行するに当たって、自動車、自転車双方の運転者も安全に走行できるよう自転車が安全・安心通行できる環境づくりなどの意見が出されました。また、道路の歩道・点字ブロック上などにあります自転車の路上駐輪、さらに、商店街などで見られます歩道を占拠したり通行の妨げとなっている路上陳列などの意見が挙げられました。また、携帯電話やスマートフォンを操作しながらの自転車運転や傘を差しての運転などに見られます、いわゆる「ながら運転」、また、そもそも自転車は本来軽車両ですが、それを軽車両と認識していない人が多く見られることから、ルールの周知・認知の拡大についての意見もありました。これらの課題等についての解決の方向性、取組の例や案などとしまして、その主な対応策としては、まず、ルールの徹底や周知をしていくことが必要であると考えました。

まず初めに、駐輪場の利用の促進につきましては、駐輪場の整備・拡大を図ることや路上駐輪が問題となっている箇所を多世代参加型のワークショップ形式で抽出し、具体的にしていくことから、課題箇所の抽出・分析・マップづくりなどが挙げられました。

2番目、路上駐輪、路上陳列につきましては、花壇、ガードポール等設置による駐輪防止などの提案がありました。第3のルールの周知・認知の拡大につきましては、各地域や学校でもなじみのあります交通安全教室や既存の交通安全活動の浸透・広報強化を図ること、また、老人会などを活用した高齢者自転車安全教室の実施が提案され、さらに、川崎市では小学校3年生の交通安全教室で自転車

の乗り方講習後に配付されます自転車安全運転者証やボーイスカウトにおける取組としまして、講習後に発行される自転車の証明書を活用し、商店街との連携を検討するといった提案がありました。

次に「マナー」についてですが、これはルールと同様にマナーそのものについて検討し、マナーはルールとは異なり、思いやりや譲り合い、相互理解に基づく社会における常識と考え、このマナーを守らない原因としては、危険や不便の回避、自己中心的な理由や無意識であることなどが挙げられました。この分野における課題・発生個所としては、保護者、大人、中学、高校生を対象として、自転車の並列通行や他者との衝突に対する舌打ち行為などといった通行マナー、携帯電話やスマートフォンを操作しながらの歩行、ベビーカーを押しての歩行といったながらスマホ、通勤時や保育園の送迎時に過度なスピードを出しての運転や並んで歩行するなど、他の歩行者の歩行を妨げるといった自転車のマナー、ベビーカーのマナー、通勤・通学時の混雑・危険運転等、マナーを“知らない”人・子どもなどが挙げられました。

これらの課題等についての解決の方向性、取組の例や案などとして、その主な対応策として、まず、マナーの啓発や普及に努めていくことが必要であると考えました。保育園・幼稚園参観日等、家庭教育学校の機会を通じて、自転車マナー教室の開催や中高校生に向けた案としてSNS等を活用したアピールをすること、乳幼児健診などの機会を利用したベビーカーのマナー用パンフレットの作成、配布、マナー喚起看板の設置や啓発標語の選定と活用といったことが提案されました。

最後に、4番目として「環境の未整備」につきましては、道路上の自転車通行帯表示の断絶や不明瞭さ、障害者や高齢者などに優しい安全・安心な歩道の確保が必要であるとの視点から、これらの課題・発生個所についての解決の方向性、取組の例や案などとして、自転車通行帯・案内等の整備・充実、循環型ミニバスの検討といった意見がありました。以上が第5回部会における検討状況の報告となります。

続きまして、9月2日に開催されました第6回部会においては、第5回部会の議論を踏まえて、現状把握の補強に努め、引き続き、課題解決に向けた取組、提案などの検討を行いました。こちらにつきましては資料1の右側をごらんください。第6回部会では、それぞれの課題に対する解決の方向性や取組例や、また、案について、意見の補強、また、より細かい検討を行いました。

そこでまず、既存の取組の周知・徹底についてですが、まず、スタントマンにより交通事故を再現し、恐怖を実感することで、自転車の乗り方といったルールとマナーの大切さを学び、また、事故につながる危険行為を未然に防ぐための教育

手法でありますスケアードストレート方式の教室実施の拡大や既存イベントでのステージ・展示を活用したり、これは一例ですが、例えば3月19日を語呂合わせとしまして「サイクルの日」としてイベントを実施し、そのイベントにおいて自転車販売業者等と連携して、自転車の整備指導・保険加入奨励等をするといった提案がありました。また、駐輪場の整備、拡大については、茅ヶ崎市事例の軒下駐輪場などについて、既存の交通安全活動の浸透・広報強化につきましては、区民会議委員による広報活動や、さらに、啓発資料の作成・活用、また、バス車内啓発アナウンスなどの提案がありました。最後に、循環型ミニバスの検討としましては、コミュニティ・循環バスについては、実施手順や事例などから確認していくなどの提案がありました。今後、第7回部会の審議におきまして、課題解決に向けた取組、提案などの検討を推し進めまして、さらに、取組内容や担い手、役割分担や進め方などについてをまとめ、第8回部会におけます最終的取りまとめへと続いていきますけれども、9月29日に開催されました運営部会では、これまでの2回の課題調査部会における審議内容について、また、今後の部会における取組や議論の方向性などについて、きょうこの全体会議でどのような議論をしていただくかといった視点からいろいろな御意見をいただきました。

したがいまして、本日の全体会議の審議におかれましても、今後の部会の審議を進めていく上で、議論の焦点や視点をどこに置くかということについてぜひ御意見をいただければと思っております。

この2つの会議の詳細の審議内容につきましては、参考資料1と2の会議録で御確認いただけますので、後ほどごらんいただきますようお願いいたします。

なお、先ほど御説明いたしました、スケアードストレート方式のスピード交通安全教室について、来年（平成28年）1月15日（金）の午後2時から（およそ3時ころまで）、市内の西中原中学校で、全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が主催し、神奈川県警察本部の共催により実施されます。こちらは一般には公開されない予定ですが、区民会議委員の皆様の中でもし見学の御希望がございましたら、後日事務局から確認がありますので、見学希望の旨をお知らせいただければと思います。

長くなりましたが、以上で課題調査部会の審議の報告を終わります。

板倉委員長 課題調査部会の検討結果について御報告いただきました。

次に、9月29日に開催しました第5回運営部会の検討内容について、運営部会副部長である本副委員長から御報告いただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

本副委員長 それでは、第5回運営部会につきまして御報告いたします。9月29日に、7名の委員のうち6名（1名欠席）の出席で部会を開催いたしました。

最初に、課題調査部会長である成田副委員長から課題調査部会の結果を報告していただき、検討内容を確認いたしました。

先ほど成田副委員長から細かく御報告がございましたように、第5回及び第6回の課題調査部会では、具体的な課題や取組案などについて議論が行われましたので、運営部会においては、課題調査部会による取組案などの検討内容について個別具体的な意見を言うていただくのではなくて、課題調査部会における今後の検討方向等につままして、また、本日の全体会議でどのように審議していただくかというようなことを中心に検討いたしました。

それでは、資料1、先ほども説明がありましたA4の課題解決に資する提案等まとめ（経過報告）の資料の右側をごらんいただきたいと思います。こちらは、第5回、第6回課題調査部会で検討していただいた際の主な意見などをもとにし、さらに運営部会の審議において発言いただいた御意見などを加えまして、審議経過をお示ししたものでございます。

まず、資料左上段をごらんいただきたいと思います。ここに中原区の特徴を示しております。運営部会では「日常生活に自転車が切り離せない」「多様な区民の存在」「短時間利用（買物など）の自転車（駐輪）対策が課題」といった区の特徴を踏まえまして、今回の審議テーマである「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」そのものについて再確認をいたしました。

次に、資料右上段の検討のポイントであります区民会議の取組としてどうかという意義や妥当性の観点などから、また、実現（可能）性や緊急性・優先性などの観点からも、現状の審議の視点や方向性についてはどうか、不足している視点や考慮すべき事項はないかなどについて、本日の全体会議で議論していただくことが必要ではないかということを中心に検討させていただきました。

主として、提案の具体化に向けまして、検討の方向性に関する助言や意見が出されまして、自転車に関する各事業や啓発活動などの方向性について、既存の取組や活動の強化にとどまらず、中原区のオリジナリティを出した取組とすべきではないかといった意見や、ベビーカーと自転車のマナーを合わせた資料は中原区らしいといった御意見などもありました。さらに、イベントの対象者につまましては、子どもだけではなく、多くの人が集まるイベントなどで親子や大人世代を対象とすることや高齢者こそ対象とすべきではないかといった意見もございました。具体的な取組について、例えば既存の自転車安全運転者証の活用について、名称や仕組み等の検討をしていくことは必要ではないかといったような意見もありました。

そのほかに「環境の未整備」項目としてのコミュニティ・循環バスの検討につ

いて、区民会議の提案として取り組むことは難しいが、その要望に関する働きかけは必要であって、その意見や状況等を整理し、報告書に記録していくことが必要といった意見もございました。最終的には、これらの部会において検討結果を踏まえ、本日の会議に諮ることで了承いたしました。今後引き続き、第7回、第8回課題調査部会において、具体的に取り組、提案についての議論をしていただいた上で、1月には、おおむね取り組み、提案内容を決定していただきますので、本日は今後の議論の方向性や視点について、また、区民会議の提案する取組として、さらに、実現性や実行する効果を高めるアイデア、手法などについて、皆様からアドバイスや御意見等いただき、今後の課題調査部会でさらに深い審議を進めていただきたいと思いますと考えております。

なお、会議の詳細な審議内容につきましては、参考資料2の会議録であわせて御確認をいただければと思います。私からの説明は以上でございます。ありがとうございました。

板倉委員長 課題調査部会、運営部会両部会の検討結果を報告していただきました。見てのとおり、対象の範囲が非常に広いということもございますが、それぞれ検討を進めていきたいと思っています。今回の検討結果は11月11日の第7回課題調査部会に反映するというので考えておりますので、審議の方向性、視点についてはそういうところを御考慮いただきながら御意見をいただきたいと思いますと思っています。

それではまず、御意見、御質問などございましたらお願いします。

では、内容も大変多く、複雑なところもあると思いますので、いつものように順番に御意見をお聞きするという形で進めたいと思います。

山崎委員 課題調査部会でいろいろと意見を交換させていただいているんですけども、本当に範囲が広いので、私自身もどうしたらいいのかわからないというか、何をどうしようかというところには、まだ具体的には頭の中でも入ってきてはいないんですけども、運営部会でいろいろと御意見をいただいた中で、例えば毎月20日を二輪の日とするキャンペーンなどについては、どのような具体化ができるのかなというようなこともここでお話をお聞きしたいと思いますし、警察署とか自転車業者との連携についてはどのように進めていけばよろしいのかということもちょっとお聞きしたいと思います。それはまた、課題調査部会で考えてくださいみたいなことになるのかもしれないんですけども、ここで皆さんでちょっと交換できたらいいなとも思いますし、自転車が悪いとか、そういうことではないということをまず、一番に考えていきたいなというのがあります。誰が悪いのではなくて、まち全体が動きやすい、歩きやすいまちになるようにできたらなというのが課題調査部会の中でも基本にあるのではないかなということがありますの

で、私はそういうところを大事に考えたいなと思っています。

一番最初なのに申しわけありません。

板倉委員長 今、山崎委員からつながりのテーマ、御指摘をいただきましたので、それなりにまた、皆さん御意見があるようでしたら、補足するような形で出していただけるとありがたいなと思います。

松本委員 課題にはルールとマナーということがあるかと思うんですが、まず、私からすれば、社会福祉協議会では子育てサロンというのを民生委員と協働してやっております。そこで、子育てのお母さん方がお見えになったときに、これからという形でルールとかマナーを植えつけていければと思います。

それと今、私もお話ししようと思ったんですが、毎月20日を二輪車の日、自転車、バイクも二輪車なんですが、そういう形で区民会議では設定して、どのように活用するかといえば、春と秋の交通安全週間を活用して、春と秋、暮れにもありますが、それぞれ通学のところで、各小学校ではやっておりますが、必ずPTAと協働して、各四つつじに立って、その後、小学校で反省会をやる。下小田中小学校ではやって、ほかの学校でもやられていると思うんですが、そういった形で、回を繰り返してくると、子どもたちもちゃんと挨拶をしてくれるし、マナーが少しずつ植えつけられる。そしてまた、道路標示とか道路標識なんかもそれぞれの中で意見を言って、そうすると、1つつ直ってくるというのがあります。そういうことで、少しずつそういう芽を、二輪車の日という形にして、それとまた、小学校の通学の時間帯を利用して、そんなに長くはありませんので、時間帯に、小学校だと、20分、25分ぐらいまでには学校に着いておかないといけないということですので、大体7時50分から30分ぐらいの範囲ですので、その中でPTAと協力して四つつじに出ていただいて、その期間の間だけまずやって、その反省会なんかでいろいろと案を出して、二輪車の日、区民提案と協働だということやっていけば少しずつ底上げできるし、その間には通勤の方もいます。お母さん方も通ります。そういうことで少しずつマナーを注意しながらルールも覚えていく、浸透させるという形でいったらどうかという提案をいたします。

萩原委員 前回のときに、梅原委員から出ましたボーイスカウトで出している自転車安全運転者証というのがとてもいいねという話になって、ぜひこれを中原でも出せないかということがありましたので、中原警察署の交通課長様にちょっとお話、区民会議でこんなうわさがあったんですけれどもみたいな話をしたら、大変乗り気で、あっ、それはいいね、とてもと言われましたので、ああ、そうなんだというふうに思いまして、この間の区民祭のときにも新しい署長様にもそんなことが挙がっているんですけれども、どうなんですかねみたいなことをお話ししたら、とても前向きでいらしたので、持ってきてくれれば、このように書けばとか、こう

いうやり方があるとか、中原警察署としてそれに乗っかるというのは全然できま
すみたいなお話もありました。あと、運営部会でもそんなお話がありましたの
で、ぜひ交通安全協会さんですとか、いろいろな警察の諸団体があるんですね。
ふだんからそういういろいろな交通安全の啓発活動を地道にやっていたらしゃる
コミュニティ活動をされている団体がたくさんありますので、そういうところにも
声をかけて。

たまたま交通安全協会の会長の朝山さんにも、こんな話もどうなんですかねとい
う話をしたら、すごいおもしろいとおっしゃっていただいて、イベントをやっ
ても、なかなか人が集まらなかったり、お金だけかかってしまったりしているの
で、何かそういう1つみんなで……。そういうのがあればほかの団体にも声をか
けられるので、あと自転車の協会、自転車をやっていたらしゃる方々もそのよう
に取り組んでくだされば、自転車もちゃんと修理をして、余りひどくなったら新
しいのにかえなければならぬし、また、きちんと保険にも入っていただきたい
ということも含めて、保険屋さんにも声をかけられるので、ぜひみんなで取り組
めるといいねという機運は結構盛り上がってきているので、できたら課題調査部
会さんで動いていただければ、皆さん結構できる範囲でどんどん実現していきそ
うな雰囲気があるので、お願いできればなと思っています。1回でも、2回で
も、どこかでできればと思っています。交通安全協会でもそういう指導をする
方々はたくさんいらしゃるそうなので、ただ、指導するには中原警察のサポ
ートがないとなかなか……。道路をとめて、その道路で実際にやったりすること
もあるということも聞きましたので、いろいろな方法があるかと思っております、
これから詰めていって、ぜひ実現できればすてきかなと思っています。

板倉委員長 会議よりも少し進歩したという感じがしますので、よろしく御協力をお願い
します。

仁上委員 私も区役所に来るのに自転車を利用しております。以前と明らかに違ってきた
なと思うのは、駐輪場の整備なんです。以前は玄関、入り口の前にただ置く場所
だけがあって、そこへ立てかけるのに非常に面倒な思いをする。特に風の強い日
なんていうのは将棋倒しになっていて、倒れていたという経験は何度もしている
んですけれども、おかげさまで最近是非常に立派な駐輪場ができて、あそこへと
めておくと、非常に安心していただけるし、出し入れが簡単である。

そうしたことを考えると、いろいろな問題点、取組の例や案が出ておるんですけ
れども、全てができればそれにこしたことはないんですけれども、大きな予算が
かかるもの、低予算でできるものをしっかりと分ける。大きな予算のかかるもの
は、いずれ行政に、あるいはある大きな団体に任せるとかということによろしい
と思うんです。まず、低予算でできるもの。この中にも書いてありますけれど

も、保育園、幼稚園、あるいはそのPTAだとか地区の町内会、いろいろな団体があるんですけども、そういったところに対しての啓蒙というか、パンフレット、あるいは教室を開くということを中心に考えていったらよろしいのではないかなという気がいたします。

中森委員 今回のテーマについて、すごいいろいろな意見が出て、確かにいろいろな団体とかもこれに取り組んでいるのを見ているので、区民会議として、できるだけそちらと連携をとって、団体でまだやっていないこととか改善できることを区民会議に声かけをして、それを改善できるようにしていくのが大事ではないかなと思っています。特に警察署等の連携はとても大事だと思います。そこでもいろいろやってくれているので、もっともっと区民全体に広がるようにしていただけるとありがたいと思っています。特にポスターとかパンフレットづくり、作成となっているんですけども、できるだけ幅広い範囲で伝わるように、外国籍の方にもできるだけ伝わるようにしてほしいので、全ての言語で訳すのは今現在ちょっと難しいので、せめてちょっと易しくというか、イラストつきで、日本語の漢字はできるだけ振り仮名だけでもつけてもらおうと、大分読みやすくなるので、それぐらいするだけで大分皆さんも読めるようになるんですね。そういうふうにすると、余りお金をかけなくても何とかいろいろな方に伝わるのではないかなと思っています。

長尾委員 今、中森委員のおっしゃられたことも関係があるんですけども、外国籍の方にわかるようなものというのは、子どもにもわかりますし、イラストか何かありますと、みんな興味を持って見ると思いますので、すごくいいことだなと感じました。

私が一番簡単で効果が上がりそうだなと思うのは、ルールやマナーを御存じない方にお知らせすることだと思うんです。知らないから守れていないだけで、知ったら守れるのではないかと思いますので、すごく簡単に効果が上がる方法として張りポスターですとかパンフレットなどですごくわかりやすく、どなたにでもわかるようなものをつくって配布すると、とてもよいかなと思っています。

仲亀委員 私の場合、範囲が狭くなるんですけども、商店街なら商店街に駐輪場を備えれば、そこへ必ず自転車とかベビーカーは置いて、買い物の目的地へ行くというような形をとっていただくというマナーというんですか、そういうものを1人1人の方たちが心がけられるような形に持っていけたら、結局歩いていて、ここに自転車がとまっていたり危ないとか、ベビーカーを置きっ放しで危ないとか、そのようなことが私自身の形から考えたときには一番。だから、商店街とか、そういうところの駐輪場の確保というんですか。例えば平間のマルエツなんかの場合は、マルエツの前が全部駐輪場にきちんともう整備されて、絶えず警備員さんが

自転車の整理に来ているような形なので、いつ行ってもきちんとなっていますし、とめられるところはここなんだみたいな形になっていますので、あのような形が商店街の入り口とか、真ん中なら真ん中とかにあったら一番そういうあれがない、歩道とか、そういうところにやたらにとめない形になるのではないかなと思います。

塚本委員 中原で暮らしていくには、自転車の問題というのは、便利で暮らす、安心・安全に暮らすというのに非常に身近で、切っても切り離せないテーマなので、今後ぜひ本会議で取り上げるのはいいと思っています、エリマネの地域としても、誰かがやってくれることではなくて、住民1人1人の意識にかかわっている問題なのだということで、何をやるにしても御協力をしていきたいと思っています。毎度ながら、こういう身近な課題であるからこそ課題も多いし、やらなければいけないこともたくさん出てくるんですけれども、それをどうやってまとめて絞っていくかというのは非常に難しい話で、多くのことはそんなにできないので、中原区でいうと、こういった自転車問題というのはずっと長く取り組まれてこられた問題だと思うので、今までの取組事例なんかも含めて、長年やってきて、解決できてきている問題、長年やってきているけれども、解決できない問題、時代とともに今、新しく出てきている問題。商業施設がふえたとか、子どもがふえたとかいうようなくりをいろいろ時系列とか、今なぜこれに取り組むのかということになるべく住民の皆さんにそうだよと納得できるものに絞っていただいて、だからこそ、住民みんなでやろうよというようなことに絞れていけるといいなと思っていますので、何をやるにしても協力しますので頑張りましょう。

田中委員 先ほどもちょっとお話しございましたけれども、朝の学校の子どもたちに挨拶をしながら指導するという話が松本さんからありましたけれども、私の町会も中学校、小学校ともに、特に中学校は挨拶運動を盛んにやっております、私、自分の家の前が、片方に小学校が行き、片方に中学校が行くところになってまして、朝、立っていて、挨拶をしながら、子どもには車が来たときとか、自転車も結構飛ばしているのがいるので、注意なさいよとか、そういうことを長いことやらせていただいておりますが、そういう中で、教室でももちろん結構なだけけれども、自然な形で教えるのもいいのかなという感じがするんですね。

もう1つ、実は昨日の話ですけれども、丁字型の道路で信号待ちをしていましたら、ちょっと知っているのが通ったもので、その人に話しかけられて、そこにいたんです。そうしましたところ、前のほうからお母さんが自転車、子どもさんも自転車なんです、お母さんが先に渡って、子どもさんが後だったんですね。その間、約3メートルぐらいだったと思うんです。そうしたら、そのお母さん、信号が変わるので、慌てて通過したんです。あっと思っていたら、子どもさんが

赤でびったりとまりました。とまったときに、その子どもさんの顔を見たんだけど、非常に真剣に信号を見ていました。子どもさんは低学年、大体2年生くらいでしょうか。そうしたら、そのお母さん、渡ってしまっていていかげん行っから戻ってきまして、何て言うかと思ったら、ああ、そうか、僕、とまったんだねと言っていました。これはいい教育だと思うんです。失礼な言い方ですけども、お母さん方の交通マナー、非常に信号無視が多いです。これがありますので、きのうそれを目にしたときに、そのお母さんは偉いなと思いました。その子どもは何げなく、ちゃんと赤信号の前でとまっていた。青になって出たと。子どもさんは、お母さんが行ってしまった、親が行ってしまったから追っかけていくんだと。これが普通だと思うんですけども、きのう見たのはそういうことで非常にいいことだったと思っています。

実は私のほうは、西加瀬いこいの家をやっています、あす、ちょうど1時から老人対象の車の講習会なんですけど、これも老人ばかりとよく言われるんですけども、あすは講話と実地ということで中原警察署から来ていただきまして、講習を行うことになっています。西加瀬いこいの家だけではもったいないので、若干ほかにも終えたんですけども、40名ぐらい予定していたんですけども、28名の申し込みがありましたので、明日これにつきましては講習をやりたいと考えながら、老人も自転車。足が弱いから、やっぱり自転車に乗るという経緯が非常に多々ございますので、そんな面におきまして、あすは有意義な講習会にしたいと考えております。以上でございます。ありがとうございました。

園部委員 私、最近よく利用しておりますスーパーがございまして、はたと気がつきましたら、自転車を置く駐輪の、区役所でも使っているような駐輪場ができてしまったのです。ガチャッと入れると必ずとまってしまって、精算する。費用はかからないんですが、精算するところに行くと解除しないと使えなくなって、うわあ、不便だなと思ったんです。ところが、不便だなと思いましたが、皆さんそれをきっちり守っていらっしゃるんです。そうすると、自転車の台数が以前よりは少なくなっているはずなんですけれども、そこは今行ってもとめられないかなとか、いろいろ御自分で皆さん考えられて、うまいぐあいに規制があると、それに従ってくれるというか、とてもきれいになりました。先ほど区役所でも駐輪場ができて、とてもきれいになったし、使いやすくなりましたけれども、少なくとも町なかでもそれでとてもきれいになると思うんです。

ただ、これにはスペースとか、費用とかがかかりますので、ある程度の限度があるかなという気がいたしまして、それ以外でどのようにしたらいいかといったら、やはり先ほどお話に出ましたようにルールを皆さんに知っていただく、マナーを知っていただくということになるのかなと思うんです。やはりポスターと

か、今、田中さんがおっしゃいましたように講習会というか、講話というか、お話があるんです。

私、昨年、交通安全母の会に参加しておりまして、春夏秋冬でいろいろ警察、区役所の係の方が全部セッティングしていただいて、私たちはそれに協力しているという形だったんですけれども、警察の方もいらしていただいて、春夏秋冬の交通安全週間に参加しておりました。その会は、毎年小学校のお母さん方が年度で変わるんですね。毎年新しいお母さんが参加していらっしゃいます。その会で交通安全のいろいろな話をしたり、協力したりしていますと、知らず知らず交通安全に対する注意と申しましようか、関心が植えつけられてくるのではないかと思います。私もそれに参加して、事故を起こしては絶対いけないと思ひまして、安全に自転車に乗るようにしております。

ということで、やはりポスターとか、いろいろなお話ができる場所、場面で反復と申しましようか、なるべく頻度が多いほうがいいかなと思うんですけれども、お話を伺っていると、知らず知らずのうちに交通安全に対するマナーとかルールが身についてくるのではないかなと思います。

ちょっと話が飛んで、四、五年前だったんですけれども、細い道で小学校1年生が歩いていまして、車がバーっと来て、とまってしまったんですね。えっ、あなたたち、どちら側を歩くのと言ったら、人は右側だよってすぐ答えたんですね。そのように、やはり小さい方にもそういうルールの徹底というか、お話を広げていくことは、場所その他を確保できない、費用のかからない方法ではないかなと思います。以上でございます。ありがとうございました。

梶川委員 先ほど来出ておりますチラシをつくったりして、広報活動。わかりやすい、子どもでも、大人でも、ああとと思うようなものを配って、広報活動をするというんです。私は元住吉に住んでいるんですけれども、そちらは駐輪場がこのごろ充実していまして、先ほどおっしゃったように全部機械でガチャンとやるものなんです。最初は費用が少し、安いんですけれども、駅の下のところはたくさん入れられて、そこは100円ぐらい払うんですけれども、信用金庫のところとか、ありとあらゆるところにそういう機械ができていますので、置くのにも安心して置きやすいので、とても駅の周辺は放置自転車が少なくなったような気がするんです。

もう1つ、この前から言っているんですけれども、やはりバスを利用している人がバスからおりまして、バスに乗っているうちに歩道をよく見ておらないと、おりた途端に自転車がすっと行くことがあるんです。それがすごく怖いんですよ。でも、余りバスの中でぐずぐずしていても悪いかなと思ったりして、このごろバスを利用するようになってからそれをすごく感じます。

あとはもう皆さんが今までいろいろおっしゃっていたので、みんな同じような考えですので、これで終わります。

尾木委員 課題調査部会の皆さん「自転車に起因する交通事故」「ルール」「マナー」「環境の未整備」の分別は非常にいいと思いますし、この表の中でほとんどの問題は網羅されているのかなと思っております。今後、区民会議としてどういう形で…。個々のことは別にしまして、どういうスタンスでいったらいいのかなと思うわけですが、塚本委員が先ほど言ったように、非常に今までの取組の中で効果があったもの、そして、なかなか実効性が上がらないものというようなくくりで洗い直すのも1つの方法かなと思っておりますし、この後の資料にありますように、各団体も自転車のマナーについてはいろいろなことをやっているわけですので、区民会議としては、ぜひ個々にやっている団体さんのさらに上をいって、ある程度融合性と話を効果的にまとめられるような方向性に持っていくような動きのほうがいいのかな。もちろん個々でやることも大事なんですけれども、せっかくこれだけの区民会議の優秀な委員さんがお集まりいただいているので、組み合わせをもう少し効果的なものにしたほうがいいのかなと思っております。ですから、各団体さんの動きもよく検討して、そして、それぞれ補い合えるところは補っていくとか、そういうもうちょっと大きな俯瞰図で区民会議は見たほうが効果的かなと思ってます。

梅原委員 個々にテーマを見ますと、すごくいっぱいあるんですね。どれをやるかというのがあるんですけども、そうすると、ばらばらで、なかなか決まらない。やっぱりテーマを絞り込まないと何もできなくなってしまうのではないかと思うんです。テーマの絞り方とすると、最大公約数をとるというような考え方ですね。中原区の場合、高齢者がふえている、子どもがいる、ハンディキャップのある人がいる、あるいは普通の人がいる。そうすると、どれに焦点を当てるかという方法があるんですね。そうすると、1人1人にやりたいということがいろいろあるのではないかと思うんですよ。だから、ここにいっぱいテーマが出てきていると思うんです。

実は、例えばボーイスカウトなんかの組織を運営するときに、みんな何をやりたいかというのを全部出してもらって、やっぱりいっぱい出てくる。そのときに、じゃ、幾つかにまとめましょうということになると、じゃ、どういうことをやるかというふうに大体決まるわけです。そうすると、そのときに、じゃ、実行委員会をつくらうということで、個人に何とか実行委員長、何とか実行委員長と決めるわけです。その人はそのテーマについて一生懸命やるというようなことを大体決めておいて、コアになる人はそれを中心にやるんだけど、みんなもそれに協力するというスタイルをとっています。そうすると、これだけテーマがあ

りますから、やりたいことは人によって違うと思うんです。そうすると、やっぱり何人かをまとめて、例えばこれをやる、あなたは、じゃ、これをコアに、メインにやってください、これをコアに、メインにやってくださいというようなやり方をすると、たくさんの方ができるとは思わないかと思うんです。これをやりたい、これをやりたいと言いつ放しになると、いつまでも決まりませんから、あなたはこの部分をメインでやってくださいというふうに、それぞれやる実行委員長を決めるようなやり方をとると、たくさんの方が並行して進むのではないかなという感じがいたします。これは単なる意見ですから、採る、採らないは委員長にお任せしますが、そういうやり方をすると、いろいろなことを同時進行で決めることができるのではないかなという感じがいたします。

岩崎委員 自転車のマナーとかルールの徹底がかなり議論に上がっているところで、やっぱり優先順位をつけて、マナー、ルールの徹底をやっていかないとけないと思うんですけれども、時間も費用も限りがある中で、私もある程度絞っていく必要があると思っています。ここに書いてある例もあるとおり、保育園であるとか、学校であるとか、そういうところをお願いしてパンフレットを配布していただくとか、駐輪の問題が多い商店街があるのであれば、そここのところに集中的にパンフレット等を配っていただいたり、周知していただく、または自転車置き場を多く持っている工場とか会社があれば、そういうところにもそういう徹底のパンフレット等を配っていただくとか、ある程度そういう自転車の利用が多いところから、まずは……。ちょっと地道になるかもしれないんですが、そういうところでパンフレット等で周知を図っていくというところが1つ優先順位づけとしてはあるのかなと思っています。あとは、違法駐輪というのがどこの地区にどのくらいあるのか、把握されていると思いますので、そういうところをまず、取り組んでいくというところでは、違法駐輪をされている自転車自体にそういうパンフレットを入れておくとか、ここはルール違反なんだよというところをきちんと知っていただくというのも含めて、やっていくというのも1つの案かなと思います。

井上委員 私のほうで感じたことは、塚本委員からも出たんですけれども、既にやっている既存の自転車の事業というのがあって、そこはやっぱりちゃんとお子さんを中心に伝わっているのかなというのにはすごく感じています。ということは、区民会議の中で同じようなことをするというのとは、ちょっとまた、オリジナリティというのもそうですし、強化ということにはなると思うんですけれども、ほかの面にももう少し目を向けたほうがより広く、区全体のマナーアップにはつながるのかなとは思っています。じゃ、何をやるんだというのはさておきなんですけれども。

一番は、萩原さんから出ていたんですけれども、みんなに見てもらえるようなものにしていくことが必要なのではないかというのが出ていて、それは確かにそう

だだと思います。日常にあるもので、自転車というのは特に今チャンスだと思います。自転車自体がすごくブーム、文化になってきているというのがあるので、ここでしっかりそういった自転車に関する啓発事業を中原区から発信することができれば、よりいいまちにはなっていくかなと思っているので。

ただ、目にする機会が、チラシを配っただけで区民全員に伝わるのかといったら、23万部とか刷って、全戸配布とかとやるのだったら、それは結構だと思うんですけども、正直それでも目につかないとは思いますが。見る人も、見ない人もいるので、例えばイベントをやるというのであれば、それなりにちゃんと発信してもらえるように新聞社に来ていただくとか、テレビ局に来てもらうとか、そういう記事にしやすい媒体、仕掛けが必要なのではないかなと思います。

これを見たときに「毎月20日を“二輪の日”とするキャンペーンなどの実施」とかいうのがあって、ぱっと考えたんですけども、来年実は川崎フロンターレは創立20周年でして、20とかけて、何かうまいことができないかなとか、そういうのも考えてみました。まだアイデアは全然ないんですけども、簡単なところでいうと、こういうマナーポスターのところとかに選手を使ってもらってとかというのは御協力できるかとは思いますが。というのがあるので、そうすると、より中原らしさとかも出るでしょうし、知名度のある選手であれば見てくれることも多いと思います。先ほど言ったとおり、文字がいっぱい入っていても、ポスター自体は立ちどまって見る人なんか、誰もいないので、歩いているときにぱっと目につくものなので、やはりよりわかりやすくつくるところでも目の引きやすいものを使って告知していくということと、イベントをやりたいというのであれば、ほかではやったことがないような話題になるようなものにして、いろいろな媒体に御協力いただいて、発信していただくというのが必要なのではないかなと感じました。

石川委員 先ほど副委員長からいろいろ発表がありました。すばらしいですね。実際そのとおりです。それから、マナーの点とかいろいろ言われましたけれども、それはやっぱり人間性なんです。それよりも、先ほどあちらの白いのを着ている方がおっしゃいましたけれども、やっぱり自転車もルールを知らなければだめなんです。信号が赤だから行ってはいけないよ、自転車も軽車両なんだから左側通行だよ、こんなことはみんな知っているんですよ。それ以上に、私は今、新庄で商売をやっているんですけども、ぱっと雨が降ると、若いお母さんがすぐに傘を出して、傘を持って自転車を走らせているんですよ。あれはすごく危険なんです。だから、例えば右に曲がる時は腕をどのように折るとか、左に曲がる時はどのように折るとか、そういうルールを自転車に乗っている方にしっかり理解してもらわないと、これは人ごとではなくて、自分自身が人に迷惑をかけること

があると思うんですよ。

私は今年で74歳になったんですけれども、72歳で免許証はお返ししたんですよ。息子が、自分自身は大丈夫なんだろうけれども、他人に迷惑をかけてはいけないから、お父さん、もう免許証はやめなよ、運転は俺がするからいいんだからということでお返ししたんです。365日のうち300日は自転車に乗っているんですよ。だから、いかにルールというものをしっかり教えないといけないのではないかと私は思っております。ルールを知らないから、雨が降ると、すぐに傘を差して運転したり、携帯をかけながら自転車に載っていたり、そのようなことは非常に危険なんですよ。だから、我々もルールというものをしっかり何かの印刷物にして、みんなに配るとかしたらいいと思います。

板倉委員長 なお、11月11日に第7回の課題調査部会がございますので、副委員長の成田さん、今の皆さんの御意見の中で、何か質問なり指導を受けるようなことがありましたらよろしく願います。聞いてみてください。

成田副委員長 今、一通り皆様のいろいろ御意見をいただきまして、何しろ審議を進めているほうがこの盛りだくさんのものをどう集約しようかというところなんです。ただ、皆様から非常に貴重な御意見をいただきました。特に何人かの方に言っていただきましたが、既存の取組として既に進んでいるものの中から未解決のもの、順調に続けてきた中で、さらに新たな問題として出てきたものというのは洗い出してみたいと思います。特に自転車に関しては区民会議が発足しましてから、歴代にわたって必ず中原区の課題ということですと出てきていますが、年を重ねるごとに、特に最近ですと、携帯、スマホのマナーというのは、発足当時には恐らく挙がらなかった新たなマナーに関する問題だと思います。特に中原区でこれだけ自転車についての議論が進んでいるということは、それだけ生活の中に自転車が密着しているということなので、そういうところでも、既に自転車に関して取り組まれておりますいろいろな諸団体の方々とどう連携をつけていくか。先ほど萩原委員から非常にありがたい御意見をいただきまして、警察や諸団体とどうやって連携をとっていくか。それはいろいろノウハウをお持ちになられている委員の皆様のお力をいただきながら、来月早々ということでも時間もないんですが、これを整理して、また次の課題調査部会でさらに検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

本副委員長 皆さんからいろいろな意見をいただきました。私が考えるに、最終的には、区民会議としては、人手がない、予算もないというようなことでいきますと、独自というよりも、それぞれの活動している団体などとも連携を深めながら、そちらの協力をいただきながら、こちらのアイデア等を出して、一緒にやっていく。事業についてもできるだけ小さいお子さんからお年寄りまでと一緒に集

まれるような、集合するような場とか、そういったところで効果的な活動をする
というようなことで、課題調査部会でさらに詰めていただければと思っていま
す。よろしくお願いいたします。

板倉委員長 今までの意見の中でこれを忘れていたとか、何かございますか。よろしいで
しょうか。

それでは、時間の都合もございますので、発言はここまでとさせていただきます
。本日の御意見を踏まえて、今後の課題調査部会で審議をしていくというふう
に考えております。

今後の事務局との調整というのは私に御一任いただきたいと思うんですが、よ
ろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 では、よろしくお願いいたします。

それでは次に、第5期区民会議スケジュールについてということで、事務局か
ら御説明をお願いいたします。

事務局 それでは、今後の区民会議のスケジュールについて御説明いたしますので、資料
3をお開きいただければと思います。

本日、10月29日に第6回の区民会議を開催させていただきました。先ほどもお話
しございましたけれども、11月11日に第7回課題調査部会、12月2日に第8回課
題調査部会を行いまして、本日いろいろ御議論いただきました内容をさらに深め
ていていただきたいと考えてございます。こういった議論を踏まえまして、第
6回運営部会を12月中下旬に行いまして、それを踏まえまして来年1月に第7回
区民会議を開催する予定となっております。それを踏まえまして、さらに第7
回運営部会を2月に行いまして、3月の第8回区民会議をもって最終的な取りま
とめをしていただくことになってございます。これを踏まえまして、来年4月、
区長に報告していただきまして、5月に市民報告会の開催を予定しているところ
でございます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

(3) 平成26年度地域課題対応事業実施結果について

板倉委員長 続きまして、平成26年度地域課題対応事業実施結果についてということで、
事務局から御説明をお願いします。

事務局 では、引き続きまして御説明させていただきます。

資料4、平成26年度「中原区地域課題対応事業」実施結果一覧表をごらんいただ
ければと存じます。こちらは、昨年度実施しました地域課題対応事業の一覧とな
ってございます。

まず、I 安全・安心まちづくり事業でございますけれども、先ほども、これ

までも中原区では自転車の関係で取組を進めてきたというお話がございましたが、4番、自転車と共生するまちづくり事業は、自共生さんと一緒に進めている事業でございます。自転車利用のマナーアップ等の啓発活動を行うものでございます。5番、中原区放置自転車対策事業でございます。こちらにつきましても、放置自転車の撤去ですとか、さらにはマナー・モラルの向上を目指すためにいろいろな啓発物を作成するような事業でございます。また、7番、交通安全教室開催事業も自転車の関係も入ってございまして、先ほどお話しございましたスケアードストレート方式と言われるような交通安全教室を、中学生、高校生向けに各1回、実施したものでございます。こういった形で各自転車対策等をこの事業の中でも実施させていただいているところでございます。

Ⅱ 地域福祉・健康づくり事業、主なものでございますけれども、1番の橋わたしによる地域福祉の活性化事業でございます。こちらにつきましても、中原区地域福祉計画に基づきまして、地域福祉の普及啓発等のためのワークショップを開催するものでございます。また、こちらにつきましても、マップ等をつくりまして、地域交流の情報発信等を行ってございます。

続きまして、Ⅲ 総合的な子ども支援事業でございます。こちらにつきましても、例えば5 中原区子ども支援ネットワーク事業につきましても、昨年度途中からでございますけれども、また新たに小学校との連携により、こども文化センター2館で昔遊びに接する機会の創出を図るなど、新たな事業に取り組んでいるところでございます。また、11番、区民会議の課題として位置づけられているものでございますけれども、中原区親子健康づくり・仲間づくり事業といたしまして「なかはら親子体操『ミミケロはっぴいダンス!』」をコンサート等のイベントや子育て支援施設を通じて広く啓発を行ったものでございます。

続きまして、Ⅳ 環境まちづくり事業でございます。2番の環境まちづくり支援事業というものが区民会議の課題として取り上げられたものでございまして、こちらにつきましても、身近な環境について学ぶ「エコカフェ」というものを開催したりいたしましたところでございます。

裏面をごらんください。Ⅴ 地域資源活用事業でございます。こちらにつきましても、新たなものといたしまして10番です。スポーツを通じた地域活性化推進事業の中で、1行目の中盤あたりでございますけれども、NECレッドロケッツと連携したバレーボールふれあい教室を平成26年度から開催しているところでございます。

また、Ⅵ 地域コミュニティ活性化推進事業でございますけれども、5番目の商店街と連携した地域のまちづくり推進事業も区民会議で取り上げられた課題でございます。こちらにつきましても、商店街等でフラワーアレンジメント教室で

すとか、料理などを題材とした教室を8回実施するなど取組を進めたところでございます。また、7番、小杉駅周辺の新たな魅力づくり推進といたしまして、武蔵小杉駅周辺地域連携推進会議を開催いたしまして取組を進めたほか、また、なかはらメディアネットワークを活用して、区の新たな魅力を発信したところでございます。

また、Ⅷ区の新たな課題即応事業は平成26年度に新たにつくられたものでございますけれども、26年度におきましては、区の木「モモ」を制定するなど、年度当初、計画的な事業について対応を図ったところでございます。

以上がこの内容になります。よろしくお願いたします。

板倉委員長 ただいまの説明に、御意見、御質問ございますか。非常に早い御説明であったのと、内容がたくさんあるので、御質問しづらい点もあるかと思っておりますけれども、ありますか。

梅原委員 交通安全協議会とか交通安全母の会、いろいろな団体がやっているんですね。私も参加したことがあるんですけども、今、出ているテーマの中で交通安全に関するものがたくさん出ているんですね。だから、そういう団体とダブらないようなことをやっぱり考えなければいけないので、やっぱり区民会議として特徴のあるテーマを提示する必要があるのではないかなど、ふとそう思いました。

板倉委員長 ということで、お伺いしておきます。区民会議はなかなか金がない、区の予算を見ると金があるという、何とも言いがたいところがあるかと思っておりますけれども、何かほかにごございますか。

(4) 取組事項の進捗状況について

板倉委員長 なければ、今まで1つ目のテーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」ということでいろいろ実施してきたもの、まだ提案の段階で進んでいないもの、それぞれございますが、それぞれここで、長尾委員、井上委員、萩原委員から説明をさせていただきます。

長尾委員は、中原区版 仕分けの達人ゲームの制作と活用という例で「等々力ピカ美化大作戦!! ～スタジアムをキレイにするのは君だ～」の内容について御説明いただきたいと思っております。

長尾委員 中原区版 仕分けの達人ゲームの制作と活用ということで、10月18日(日)、等々力緑地でなかはら“ゆめ”区民祭の会場で行われました。川崎フロンターレ 中原アシストクラブ参加〔専修大学インターンシップ〕の学生さんによる企画・運営の「フロンターレを活用してまちおこし」事業の協力で、小学生ターゲットにしたごみの分別ゲームを実施いたしまして、私もお手伝いさせていただきました。ルールは簡単で、ワルンタくんがスタジアムにごみを散らかしたという設定

で、受付でごみの分別表をもらいまして、スタジアムに見立てた場所に行きまして、スタジアム内のごみの絵のカードをそこから3枚拾って、ジャッジのところに持って行って分別する、正しくできたら景品と交換できるカードがもらえるので、最後に景品と引きかえて終了というゲームだったんですけれども、400枚以上フロンターレの選手のトレーディングカードが用意されていまして、ほかに220個の缶バッジも用意されていたんですけれども、お客さんが大変に多くて、3時までの予定だったんですけれども、2時過ぎくらいにもう全部なくなってしまいました。たくさんの親子の方に楽しんでいただきまして、何回も何回も回ってこられる子どもさんもうらっしゃいました。対象は一応小学生ということだったんですけれども、もっと小さいお子さんにも参加していただきまして、それに伴って親御さんですとか、とてもいいお天気だったので、おじいちゃん、おばあちゃんも一緒にいらして、家族みんなでゲームをしていただくことができました。

結果的には、結果的には幅広い世代の方にごみの分別ということをお祭りの場で体験していただくことができました、とてもよかったのではないかと思います。本当にこの会議で話し合ったことが成果として目の前で見られまして、私も大変うれしく感じました。

板倉委員長 正解率というのはどのくらいあったんですか。

長尾委員 ほとんど正解でございます。

井上委員 正解というところでは、正解するまでやり直すという形だったので、ほぼ全員クリアです。

板倉委員長 それでは続きまして、人形劇による美化・リサイクルの啓発ということで、井上委員から御報告をお願いいたします。

井上委員 この事業は、川崎フロンターレ中原アシストクラブと中原区役所で協働して、中原区内の全保育園に通う年長の子どもたちを対象に、ごみの分別・リサイクルを伝えようということで始めています。既にもう3回、中原市民館で行ってまして、1回に来る園が大体10園ぐらいで、人数が大体100名から200名ということで来てもらっています。こちらの事業に関しては、今、見ている劇の感想から、子どもたちが笑いながら、すごく楽しく見てもらっているというところであると、すごく成功しているのかなと思います。実際に帰ってから本当に覚えているのかということに関しては今アンケートをとっているところなので、これから出てくるかと思いますが、見た子どもたちには全員ミックスペーパーとプラスチックの分別がわかるマグネットをプレゼントして、家庭でもそれを冷蔵庫とかに張って参考にしてもらえればということで、それも川崎フロンターレのマスコットのふろん太とか、あと、かわるんという3R推進事業のキャラクターとか

入れて、なるべく親しみができるようにということで渡しています。

先ほど言ったアンケートに関しては、なかなか答えていただくのが難しいというのがアシストクラブからも出ていたので、それはフロンターレに協力してもらって、アンケートに答えていただいた方には川崎フロンターレの来年のホームゲームに御招待しますというような名目でアンケートをとっております。昨年やったときの回答数が100を超えていたので、そういう意味でもしっかりフィードバックをとって、効果を次回の区民会議とかに御報告できればと思います。

板倉委員長　じゃ、続きまして、これからの活動ですが、「きれいなまちづくり活動の推進」ということで、萩原委員から御説明をお願いいたします。

萩原委員　区民会議の提案で、アンケートとか、日ごろ自分のところだったり、ほかのところだったり、ほかのところをコミュニティ活動の一環、ボランティアとして清掃に取り組んでくださっているいろいろな団体やグループがあることはわかったんですけども、実際に本当に一斉にお掃除してみようということで、11月7日（土）8時半から9時半ということでこのチラシをつくらせていただいて、この裏にそれぞれのお店や自宅や企業や商店の周りでもいいですし、コアパークに来られる方は8時半にいらしてくださいということをファクスでエントリー形式にして、最終的には来年5月の区民会議の発表のときに何かの形で中原区のマップの中で、これだけ丸が広がって、いろいろなところで一斉に清掃したよというのを目で見られるといいなと。1回参加してみると、一体感もあって、これだけきれいになると、ああいうところが汚くて困ったねとふだんから気がつくようになる。その気づきのきっかけになるためにもとてもいいことだと思って、これを実現させたいと思っております。

毎月第1土曜日の8時から小杉駅周辺エリアマネジメントさんで取り組んでいらっしゃる武蔵小杉駅の周辺の清掃活動、大変立派で、今もたくさんのお子様たちと親御さん等、再開発マンションにお住まいの方々が60人ぐらいですか。いつも本当に一生懸命していただいているいらっしゃる活動を知っていただいて、この後、小杉でこういうことをやっているんだ、自分たちも一緒に参加しようという方がふえたらいいなとも思いまして、土曜日ということになりました。

最初のうちはいろいろな企業に声をかけますと、うん、やる、やると言っていたんですけども、実際に、例えば銀行なんか土曜日に人を出してやるかという、口ではやるやると言っていたけれども、やっぱり難しいよねということもあり、私も頼みづらくなりまして、ちょっと区役所と相談させていただいて、どうしても土曜日が定休日だったり、工場が休みだったりするときにちょっと無理もあるということなので、どうしても土曜日がだめだったら、前日でもいいでしょうということになって、とにかく6日、7日で中原のあちこちをぴかぴかにで

きればいいよねということで、ちょっとハードルを下げて今、皆さんにお声かけをしています。中原工場協会では300社ぐらいに全部郵送させていただきまして、私も今ロータリークラブとかライオンズクラブを全部回っていきまして、きのうもフロンターレの社長様、会長様のいらっしゃるクラブに行きまして、フロンターレさんも御協力いただいて等々カピカ美化に取り組んでおりますので、皆さんよろしくと言いましたら、ファクスするよ、するよと言ってくださったんですけども、実際どこまでファクスしていただけるかわからないので、ここにいらっしゃる方々が頼りになっています。1人30枚か40枚、直接頼まれると、面倒くさいんですけども、ああ、そうなのとやったださるものなので、ぜひ人ごとと思わずに、区民会議の力を見せていただきたいと思います。1回でも参加すれば、ああ、こういうところにごみがこんなふうには散らかっているんだとか、たばこのポイ捨てでこれだけ大変なんだとか、落書きもひどいねとか、いろいろ気がつくものだと思いますので、ぜひこの輪をつなげていきたいなと思っています。以上です。よろしくお願ひします。

梶川委員 すみません。このことに関して、持ち物はほうきとか、そういうものを持っていくんですか。文化協会の方も何人かお願いしてあるんですね。ほうき、持ち物みたいなものは何を持っていったら今度は……。初めての参加なんですけれども、ビニール袋とか……。

萩原委員 みんな一応は用意している形なので、もし何かお持ちだったら、それはそれでありがたいんです。トングだったり、軍手だったり、いろいろ用意しますけれども、どのぐらい人数が集まるかわからないので、もし足りなかったらということもあるんで……。

梶川委員 じゃ、余り大きなほうきとかって持っていけないから、手袋とか、そういうものの……。

萩原委員 でも、すごくありがたいです。ほうきまでは人数分なんかとともないので、もしあればありがたいと思っています。

梶川委員 わかりました。

萩原委員 ぜひよろしくお願ひします。ありがとうございます。

板倉委員長 よろしく御協力をお願いいたします。ありがとうございました。

ただいまの説明に何か御意見とか御質問ございますか。

松本委員 「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」ということに関連事業ですが、10月18日は区民祭で等々カピカ美化大作戦ということで、フロンターレ中原アシストクラブ、井上委員、専修大学の学生さんの指導によって、今の長尾委員の御報告にあったような形で確かに盛り上がり、お子さん、お父さん、お母さん、外国人の方ということで、非常に人数も多くて、できたと思います。それに

関連してなんですが、今度は高齢者、老人の形ということで、住吉地区社会福祉協議会では、ひとり暮らしの方の会食会を9月9日に西加瀬いこいの家で行われました。そのときに中原区生活環境事業所（中原生環）の指導のもとに、ごみの分別という話を食事の後にしていただきまして、いろいろと理解できたということです。今度は11月11日、井田いこいの家で同じように中原生環の指導のもとに会食会にお見えになるひとり暮らしの方、関係者の方含めて大体110人ぐらいになると思うんですが、指導していただくということがありますので、一応関連事項として御報告しておきます。よろしく申し上げます。

板倉委員長 以上で本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。

皆様からほかに何かございますか。

塚本委員 まずかったら、議事録から削除していただいて構わないんですけども、会計の話がちょっとよくわからないので、多分今までの資料のどこかに載っていたのかもしれないんですけども、こういった1個1個イベントをやりましたといったときに、会計報告って全然ないんですけども、基本は区民会議が市民主導の運営だからなのか、区の予算は基本ゼロで進んでいるという認識なんですか。その辺、聞いていいものかどうかよくわからず……。何か1個1個運営部会とか調査部会とかやるときに、お金が……。いたずらに税金を使ってはいけないのは当然ですけども、何にも使えなかったらチラシ1枚印刷できませんと言われると、じゃ、何をやるのということにもなるので、どういうものなら出せてとか、そういう決まりがあるのかとか、そもそもないのかとか、確認できればしたいなと思います。

事務局 今の予算の話でございますけれども、例えばお配りしましたなかはら一斉クリーンアップ大作戦のチラシですけども、今ちょっと手元にないですけども、額は数万円かかっていますので、当初予定していなかった予算を後から何とか確保して、印刷をしていただいているものでしたり、今お話がありました人形劇でいいますと、市民提案事業という形で昨年度提案していただいたものでございますので、その枠の中で当初から予定されていたものとしてやっているところでございます。そういう意味でいうと、はっきりと幾ら区民会議にお金があるかといいますと、皆様への謝礼ですとか、コンサルタントの費用とか、速記の費用とか、基本的には区民会議の運営経費として見られているところですので、何か事業をやろうとかということになると、どこかから探してきて、確保することが必要になっています。

例えば今の段階で来年度こうしようということで決まって、もう結構遅いんですけども、もうちょっと早い段階で決まっていれば予算要求をするとかということも考えられます。また、先ほども御説明させていただきましたけれども、今

は区の新たな課題即応事業費ということで、区の裁量で、例えば年度途中でこういうものをやろうといったときに、使えるお金として500万円措置されていますので、何かやる必要があるということになれば、御提案いただいて、緊急的に対応することは可能になっているところでございます。

よろしいでしょうか。細かい額は今はわからず、申し訳ありません。

塚本委員 最終的に誰がどう決めるというのは、区民会議のこういう会議で承認されるものなのか、区で承認されるものなのか、お金の決定は誰がするものなんですか。

事務局 区の予算ですので、最終的に区役所として決定する形になりますので、区民会議で提案いただいたことについて、区の中で決定の手続をしていくという形になると思います。

塚本委員 わかりました。

5 その他

(1) なかはら区民会議だより第25号について

(2) 平成27年度区民会議交流会について

板倉委員長 それではここで、区民会議参与の皆様一言いただきたいと思います。本日お気づきの点とか、助言がお願いできればと思います。

押本参与 長時間にわたる議論、ありがとうございました。今後の集約に当たっては重要な視点が2つあるかなと思っております。

皆様の意見の中でもあったかなと思いますけれども、まず最初、山崎委員から、自転車とか、商店街とか、ベビーカーとか、いろいろ経過報告の中にあるんですけども、誰かが悪いというような議論は避けたほうがいいかなと思います。多くの皆様が共感を持てるような事業に取り組んでいただきたいなと思っております。

もう1点、塚本委員からもありましたけれども、さまざまな変遷を受けて中原区はあるわけでありまして、なぜ今、中原区区民会議がやるのか。特に旬なものに取り組んでいただけたらなと思います。また、ほかの事業に重なっている部分もあると思いますので、そこら辺を整理しながら、ぜひとも区民会議だからできることに取り組んでもらえたらなと思います。

また、話は変わりますけれども、我々議員もかなり宿題をいろいろいただいたのかなと思います。経過報告の課題を見ても多岐にわたって、特にきょうは自転車の話題がいろいろ上がりましたけれども、課題があるのかなと。特に他都市の先進事例なんかを見ますと、堺市なんかは実は自転車のまちづくり推進条例をつくって、こういったマナーについてなんかも記載しているような条例もありますし、また、この中であります自転車安全運転者証は実は福岡県福岡市でもやって

いるような取組があるんですね。ぜひこういう先進事例を学びながら、我々議会の中でも発信ができればなと思っておりますので、きょうは本当にいろいろと勉強させていただいたなという思いです。1日ありがとうございました。

重富参与 すみません。きょうは教育委員会関連の会議がかぶっておりまして、ほぼ終了間際というか、3時ちょっと過ぎぐらいに着いてしまったので、本日は特に意見等はないんですけども、自転車に関しては私もこの間、議会でやったんですけども、やはり私が議会で質問する内容と、ちょっと見せていただいた課題調査部会で話されている内容って、全く違うんですね。そう考えると、議員が市政を考える、区政を考えるのと同時に、やはり区民の方に考えていただくことはすごくいろいろな視点がまざって、まちづくりが行われるきっかけになるんだろうなと思っておりますので、次回は何もかぶっていなければ最初から参りますので、ぜひまた議論を聞かせていただければと思います。ありがとうございます。

吉岡参与 こんにちは。少し遅くなりまして、大変申しわけありません。

今、議論をさまざま聞かせていただきました。また、議事録も拝見しまして、大変おもしろい視点なんて言ったら、先輩方を前にして大変失礼なんですけど、なるほどという視点で皆さん議論をされているなと思っております。こうした議論がさらに重なって、新しい川崎を発信できるような取組が生まれてくればと思っております。本日は遅れまして大変申し訳ございませんでした。私からは以上でございます。

君嶋参与 県議会議員の君嶋です。皆さん、どうもお疲れさまです。私、4月以降ずっと議会が重なったりしまして、区民会議に参加させていただいたのはきょうが初めてなんですけど、なるほど、こういうぐあいというふうな様子がある程度わかりました。

私、伺いながら思ったことは、この区民会議の中でお金のことも含めてできること、すべきこと、ほかの機関に要請すべきこと。例えば市ですとか、県ですとか、国ですとかに要望すべきことをもっと明確に分けて議論してもいいのかなと思いました。1回だけですので、ちょっとまだはっきりしたことは言えませんが、この中だけでまとめようと思うと、やることがすごく限られてしまうのかなと思いますので、一番身近な市民の方、区民の方の意見、声が反映される場所として、権限とかお金で区内では無理であっても、外に対して要望することなどももっとなされてもいいのかなと思いました。本日はどうもお疲れさまでした。ありがとうございます。

板倉委員長 ただいまの御意見については、今後の区民会議の運営に反映させていただきたいと思っております。

事務局から資料の説明とそのほか、よろしく申し上げます。

事務局　それでは、本日お手元に御用意をしております参考資料の御説明を少しさせていただきますまして、その後、次回の区民会議の日程について簡単に説明をさせていただきますと存じます。

まず、資料のほうですが、参考資料4といたしまして、なかはら区民会議だよりの第25号をお手元に御用意させていただいております。先ほど1つ目のテーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」の具体的な取組につきまして、委員の皆様から御紹介をいただいたところでございますけれども、そういった取組につきまして、今回の区民会議だよりでは載せさせていただいております。

1 ページ目で、等々カピカ美化大作戦!! と人形劇で美化・リサイクルを学ぶということで、あと、なかはら一斉クリーンアップ大作戦について御紹介をさせていただいております。

おめぐりいただきまして、見開きで2ページ目には一斉クリーンアップ大作戦について、エントリー方法も含めて、こういった形で御紹介をさせていただいておりますので、ぜひとも御協力をお願いしたいと存じます。

3 ページ目では、2つ目の審議テーマということで本日も皆様に御議論いただきましたけれども、「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」にということで、今まで課題調査部会等で審議をしてきた内容について御紹介させていただいております。

4 ページ目でも、上のほうで「『課題解決に向けた取組提案』審議中」ということで御紹介をさせていただいております。また、その下では、新しく委員にお加わりいただいた岩崎委員の御紹介をさせていただいているところがございます。こちらのなかはら区民会議だより第25号につきましては、町内会の回覧等で皆様のところにお知らせをさせていただきたいと存じますので、よろしくお願ひしたいと思います。

次に、参考資料5は平成27年度区民会議交流会の開催について（案）ということで、こちらの交流会につきましては毎年度、中原区の区民会議だけではなく、川崎市全区区民会議がございますので、全区の区民会議の委員の皆様の交流を目的に開催させていただいているものでございます。今年度につきましても開催の予定がございまして、お示ししておりますとおり、時期は来年になりますけれども、28年2月3日（水）になります。6時からということで、場所はエポックなかはらを予定しております。前回と同様の開催会場になりますので、前回いらっしゃっていただいた方はおわかりいただけるかと存じますけれども、エポックなかはらで2月3日に開催をする予定とさせていただいております。内容につきましてはまだ固まっておりますけれども、今まで同様、区民会議委員同士の交流を行うということで、各区まざった中でグループを形成していただいて、それぞ

れ意見交換をしていただく予定としております。

おめくりいただきまして、次のページが参加確認票ということで御用意してございます。もし本日の段階で、2月3日の6時からということで、懇親会も含めますと20時半以降もございますけれども、御予定がもしおわかりになるようであればお書きいただいて、席に置いていただければ、後ほど事務局で回収をさせていただきたいと存じます。また、こちらにつきましては、後日、事務局から通知をさせていただきます。おおむね1週間程度で御回答いただければと存じますので、本日御予定のわからない方につきましては、後ほどの御回答をお願いしたいと考えております。

また、実際の開催期日が近くなりましたら、具体的な内容をお知らせするとともに、実際の出欠最終確認はまた別途させていただく予定でございますので、本日お配りしたものが最終の回答ではございませんので、またそちらにつきましては後日最終回答をお願いしたいと考えております。参考資料の御案内については以上でございます。

続きまして、次回、第7回区民会議の日程につきまして簡単に御紹介させていただきますけれども、もしおめくりいただけるようであれば資料3をおめくりいただきまして、第7回区民会議のところを御確認いただければと存じます。次回の第7回区民会議につきましては、そこにお示ししておりますとおり、年が明けました1月22日（金）と25日（月）、26日（火）、28日（木）、29日（金）のいずれかの日で開催をさせていただきたいと考えております。おおむね2時から4時までと考えております。こちらもまた、後日日程調整をさせていただきたいと存じますので、どうぞよろしくをお願いしたいと思っております。事務局からは以上でございます。

6 閉会

板倉委員長 皆様の御協力をいただきまして、珍しくというか、初めて時間内に終了することができました。副委員長ともども深く感謝をいたします。

これで第6回中原区区民会議を閉会いたします。ありがとうございました。

午後3時53分 閉 会